

令和 7 年度事業報告

少子高齢化や人口減少の急速な進行、地域社会の関係性の希薄化等を背景に、地域における支え合い機能が脆弱化する中、8050問題や社会的孤立、虐待、貧困の世代間連鎖、ヤングケアラー、介護人材不足による福祉サービス基盤のゆらぎなど、従来の福祉制度の枠組みだけでは捉えきれない課題への対応が求められています。

また、令和2年からの約4年にわたるコロナ禍で顕在化した地域課題や急激な物価高騰による生活困窮者への対応のほか、令和6年能登半島地震の経験を踏まえ、これまで以上に大規模災害に対する災害福祉事業の展開や災害福祉支援体制の整備が必要となっています。

こうした情勢の中、本県においては「地域共生社会」の実現に向け、住民自らが地域の福祉・生活課題を発見し、解決につなげることができる地域コミュニティの形成が求められており、地域における包括的・重層的な支援体制づくり、福祉人材確保対策、災害福祉支援の推進が重要かつ喫緊の課題となっています。

本会としては「ともに生き、ともに支え合う地域共生社会の実現」を理念とする強化発展計画に基づき、行政、市町村社協、民生委員・児童委員等社会福祉事業関係者等との連携・協働を図りながら次の基本目標のもとで各種事業を実施しました。

【理念】 「ともに生き、ともに支え合う地域共生社会の実現」

基本目標1 「あらゆる福祉・生活課題に対応します」 : ニーズの把握、対応、解決

基本目標2 「自分らしい暮らしを支えます」 : 多様性・意思尊重、参加支援、役割づくり

基本目標3 「多様な機関をつなぎます」 : 協議の場づくり、多機関との連携・協働

基本目標4 「福祉に関わる人を増やします」 : 従事者・理解者・協力者・参加者の増加

本会が令和7年度において実施した取組みの概要は、次のとおりです。

- (1) 第72回富山県社会福祉大会や社会福祉施設・団体正副会長会議の開催、市町村社協や民生委員児童委員協議会との連携・協働、各種福祉団体への支援を行うなど、地域共生社会の実現に向け福祉関係団体とのネットワークの構築を進めました。
- (2) 市町村社協等との協働による要支援者に対する地域総合福祉推進事業（ふれあいコミュニティ・ケアネット21）の展開や各種相談への対応、日常生活自立支援・就労支援等により住民主体の地域福祉を推進するとともに、コミュニティソーシャルワーク研修等を通じた個別課題、地域における生活課題への対応力強化、緊急小口資金等の特例貸付の債権管理と借受人に対するフォローアップに取り組みました。
- (3) 災害支援に求められる情報発信力向上のための研修や災害ボランティアセンター業務の円滑化を図るための運営支援アプリを導入するとともに、県内4か所に設置した災害ボランティア活動用資機材のストックヤードの充実やそのネットワークの構築、災害派遣福祉チーム（富山DWA-T）の登録者養成など、災害対応力の向上と平時からの福祉支援体制強化に努めました。
- (4) 福祉のお仕事フェアの開催や福祉・介護職員合同入職式の実施、介護福祉士及び保育士修学資金の貸与、介護職場の魅力を発信する動画の制作・配信、中学・高校への出前講座、SNS（LINE）を活用した求人・求職情報提供を行うとともに、福祉人材確保対策・介護現場革新会議における各種課題への対応、福祉カレッジにおける研修等により、福祉人材の確保・定着・育成に向けた取組みを推進しました。
- (5) とやま介護テクノロジー普及・推進センターにおいて、介護ロボットの展示や貸出、導入支援、伴走支援を行うとともに、介護ロボットの導入やICT活用に関する研修、セミナーの実施などにより、介護現場の生産性向上等に取り組みました。

【推進項目 1】

地域ニーズへの対応力向上と包括的な相談支援体制づくり

取組項目 1 地域生活課題の把握と新たな活動やサービスの開発

(1) 福祉関係団体とのネットワーク構築

① 社会福祉施設・団体正副会長連絡会議の開催

県段階の福祉関係団体の正副会長及び理事を対象とし、社会福祉を取り巻く情勢等に関する会議を開催

令和 7 年 10 月 2 日（木） パレブラン高志会館

テーマ①「災害に備える平時からの連携とネットワークの構築について」

テーマ②「地域共生社会の実現に向けた福祉のまちづくりの取り組みについて」

参加者：16 団体、19 名

(2) 社協活動の推進に向けた市町村社協との協議

① 市町村社協専務・常務理事、事務局長会議の開催

令和 8 年 2 月 26 日（木） 富山県民会館 出席者：34 名

次年度予算及び事業説明・情報交換等

(3) 民生委員・児童委員との連携・協働

① 富山県民生委員児童委員協議会の活動支援

- ・ 市町村・地区民生委員・児童委員会会長研修

令和 7 年 7 月 3 日（木） ホテルグランテラス富山

基調講演「民生委員・児童委員活動の充実に向けた単位民児協運営に必要な視点」

講師 ルーテル学院大学 名誉教授 市川 一宏 氏

基調講演、活動実践報告

参加者：155 名

- ・ 主任児童委員・児童委員合同研修

令和 7 年 8 月 26 日（火） 富山国際会議場

基調講演「『こどもまんなか社会』の実現に向け、地域社会全体で支えるこども・子育て」

講師 富山短期大学 副学長・教授 宮田 徹 氏

基調講演、シンポジウム

参加者：395 名

- ・ 一斉改選（令和 7 年 12 月）への対応

- ・ 新任民生委員・児童委員研修

令和 8 年 1 月 28 日（水） 富山県民会館（オンライン併用） 参加者：994 名

講義Ⅰ「民生委員・児童委員の役割」

講義Ⅱ「民生委員・児童委員活動に必要な基本的知識」

講師 国際医療福祉大学大学院 教授 小林 雅彦 氏

- ・ 民生委員・児童委員研修

（富山会場）

令和 8 年 3 月 9 日（月） ボルファートとやま 参加者：96 名

(高岡会場)

令和 8 年 3 月 13 日 (金) 高岡問屋センターエクール 参加者：68 名

(新川会場)

令和 8 年 3 月 2 日 (月) 黒部市国際文化センターコラーレ 参加者：70 名

(砺波会場)

令和 8 年 3 月 12 日 (木) 砺波市農村環境改善センター 参加者：66 名

講義・演習「地域福祉推進のための民生委員・児童委員の役割」

講師 金城大学 人間社会科学部 教授 内 慶瑞 氏

② 民生委員・児童委員互助共励事業の実施

全国民生委員互助共励事業 695 件、3,489,000 円

(4) 各種福祉団体への支援・協力

① 各種福祉団体の事務局受託 (4 団体)

富山県保育連絡協議会、富山県老人福祉施設協議会、富山県地域包括・在宅介護支援センター協議会、富山県ホームヘルパー協議会への支援

② 福祉団体活動等への支援

- ・全国身体障害者施設協議会研究大会 (令和 7 年 9 月 11・12 日)
- ・全国乳児院協議会 (令和 7 年 10 月 23・24 日) 等

(5) 各種ニーズに対応した福祉総合相談体制の充実

① 難病相談・支援センター事業

ア 難病患者等に対する個別相談 (専門医による相談含む)

- ・相談支援業務 実人数 290 名、延人数 778 名
- ・専門相談 (神経難病・膠原病・リハビリ相談) 6 回 相談者：20 名
- ・ピアサポーターによる相談 相談会 1 回 相談者：延 2 名
- ・アドバイザー会議 5 回

イ 難病患者に対する就労支援

- ・就労支援数 延人数 181 名
- ・就労相談会 (難病患者就職サポーター) 7 回 10 名

ウ 講演会、研修会等の開催 (患者・家族・支援者等)

- ・講演会と交流会 (会場：富山県民会館・高志の国文学館・サンシップとやま 合計参加者：132 名)

令和 7 年 5 月～11 月 合計 6 回

講義「病態と治療の現状、日常生活の留意点について」等

疾患名：多発性硬化症／視神経脊髄炎、全身性エリテマトーデス、多系統萎縮症、特発性拡張型心筋症／肥大型心筋症、全身性強皮症、炎症性腸疾患食事療法)

- ・疾患別交流会 (会場：富山県民会館、高志の国文学館、サンシップとやま 合計参加者：31 名)

令和 7 年 7 月～11 月 合計 5 回

疾患名：慢性炎症性脱髄性多発神経炎、重症筋無力症、多発性硬化症／視神経脊髄炎、球脊髄性筋萎縮症、特発性間質性肺炎)

- ・ピアサポーター養成講座 (応用編 I・II)

令和 7 年 5 月 24 日 (土) (会場：高志の国文学館 参加者：10 名)

講義「障害に応じた住宅改修について」

令和7年12月6日（土）（会場：サンシップとやま 参加者16名）

講義「ピアサポート活動に活かすコミュニケーション力」

- ・なんびょうカフェ（会場：サンシップとやま、富山県教育文化会館 合計参加者：54名）
令和7年5月～令和8年3月 合計8回
内容：ミニ講座3回、椅子座禅、Zoomの使い方、栄養、笑いヨガ、防災、アートセラピー、クリスマス会、ミニシアター

エ 情報の収集・提供

- ・難病患者の支援啓発事業
対象：医療・介護者をめざす学生 8か所 計641名
- ・「富山県難病相談・支援センター事業案内」の作成・配布
27,500部作成、難病医療費助成受給者及び厚生センターに配布
- ・「富山県難病相談・支援センターだより」の作成・配布
200部作成、関係機関及び全国の難病相談・支援センターに配布
- ・「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業案内」の作成・配布
1,300部作成、小児慢性特定疾病医療費受給者に配布（富山市分を含む）
- ・「災害準備パンフレット」の増刷・配布
11,000部作成、難病医療費助成受給者等に配布
- ・地域支援 看護学校等講義：2回

オ 人材育成

- ・難病患者支援者（保健師）研修会
令和7年12月9日（火）（会場：サンシップとやま 参加者15名）
講義「神経難病患者の特性」「患者の立場から」「2025都医学研夏のセミナー報告」
事例紹介及び事例検討：「神経難病患者支援」～進行が早く、現状を受け止められないALS患者の支援について～
- ・難病患者支援者（コメディカル）研修会
令和8年1月15日（木）（会場：サンシップとやま 参加者23名）
講義「座位や臥症姿勢が持続する在宅難病患者への褥瘡予防の基本」
- ・難病患者等ホームヘルパー養成研修
令和8年2月25日（水）（会場：サンシップとやま 参加者：6名）
講義「難病に関する基礎知識～神経難病の理解～」
「在宅難病患者の心理及び家族の理解」家族の立場から
講義・演習「難病患者の支援に活かすコミュニケーション力」
事例検討「在宅難病患者の支援の実際」

② 若年性認知症相談・支援センター事業

- ア 若年性認知症の人・家族等に対する個別相談、就労支援
・相談支援業務 実人数47名、延人数175名
- イ 支援者のための若年性認知症研修会及びネットワーク会議の開催
令和7年10月31日（金） サンシップとやま（オンライン） 参加者：85名
体験談「妻が若年性認知症になって11年～夫の思い～」
講演「若年性認知症の人と家族の支援について～若年性認知症コーディネーターによる診断後から地域生活につなぐ支援について～」
- ウ 若年性認知症の本人と家族の交流会
・家族交流会「おしゃべりサロン」 サンシップとやま 合計参加者：21名

令和7年4月～令和8年2月 合計6回

- ・本人交流会「なないろカフェ」 サンシップとやま 合計参加者：16名

令和7年5月～令和8年3月 合計5回

エ 啓発普及活動

- ・「富山県若年性認知症相談・支援センター活動だより」の作成・発行
1,500部作成 行政、医療機関・就労関係機関等へ配布
- ・「相談・支援センターリーフレット」1,510部 ファミリーマートへ配布
- ・センターのポスターの作成 A3サイズ300枚
- ・交流会パンフレットの作成 1,200部
- ・「富山県認知症にやさしい地域づくりキャンペーン」における相談会・活動紹介
- ・関係機関での講義・事例検討助言：3回（参加者：89名）

オ その他関連事業

- ・認知症疾患医療センター連携協議会出席：4回
協議会：にいかわ、高岡、谷野呉山病院、北陸病院
- ・研修会への参加：3回
- ・会議への出席：2回

③ がん総合相談支援センター事業

ア がん患者・家族等に対する個別相談、就労支援

- ・相談支援業務 実人数 224名、延人数 799名

イ がんピアサポーター養成講座開催

- ・受講者：7名 修了者：6名

令和7年7月～令和8年2月 合計8回

内容：ピアサポーターとは何か、コミュニケーションスキル、子宮がん、肺がん
おなかのがん、乳がん、がん治療と就労 など

ウ がんピアサポート活動

- ・がん患者・家族等の交流サロン 毎月第4土曜日 開催12回 参加者延べ141名
- ・グリーンケアの会 6回 参加者延べ 49名
- ・AYA世代の交流サロン 4回 参加者延べ 14名
- ・小児がんの親サロン 1回 参加者延べ 3名
- ・県内がん診療連携拠点病院等でのピアサポート活動
黒部市民病院 4回 富山県立中央病院 6回 富山大学附属病院 3回
厚生連高岡病院 4回 市立砺波総合病院 3回 富山赤十字病院 5回
高岡市民病院 5回 富山市民病院 3回 済生会高岡病院 3回
富山労災病院 5回 厚生連滑川病院 2回 計 43回

- ・「がん教育」の講師

小学校（8校）、中学校（8校）、高等学校（4校）

がん予防に関する研修会にピアサポーターを派遣

エ がんピアサポート活動支援

- ・がんピアサポーターフォローアップ研修会開催

令和7年5月～令和8年3月 合計4回 134名参加

がんと運動、血液がんについて、コミュニケーション力、
食べること・飲み込むことの基礎知識について

オ 小児・AYA世代のがん講演会の開催

- ・ 令和 7 年 10 月 18 日（土） サンシップとやま 41 名参加
- ・ 講演会「がんになっても自分らしく ～体と心の痛みのお話し～」
- カ がん診療連携拠点病院相談員との連携（情報交換会・研修会）
- ・ 情報交換会
令和 7 年 9 月、令和 8 年 2 月 計 2 回 64 名参加
- ・ 研修会
令和 7 年 11 月 29 日（土） 47 名参加
- 講義「がん相談員として災害に備えるための第一歩」

取組項目 2 包括的支援体制の構築に向けた市町村社協の活動強化支援

（１）小地域（日常生活圏域）における住民主体の助け合い活動の拡充

① 小地域福祉活動推進事業

- ア 富山県地域総合福祉推進事業（ふれあいコミュニティ・ケアネット 21）
旧小学校区等小地域をエリアとして行われる要支援者に対する見守りや生活支援活動への助成
15 市町村 259 地区で実施
- イ 地域総合福祉活動ケアネットセンター運営事業
15 市町村社協に対してコーディネート業務費用等を助成
- ウ 地域総合福祉活動ケアネット活動支援事業
ケアネット型事業を実施する社協及び地区に対する助言・支援、ケアネット活動の普及啓発事業等
 - ・ ケアネット活動普及啓発事業（各種会議や研修会、地区懇談会等でパンフレット配付）
 - ・ ケアネットアドバイザー派遣事業の実施
市町村社協及び地区社協で開催するケアネット活動に関する研修会への講師派遣等を行った。
 - ・ ケアネット支援職員配置事業
 - ・ ケアネットチーム員・リーダー研修会の開催
令和 7 年 9 月 9 日（火） ボルファートとやま 参加者：209 名
国の福祉施策や動向等に関する講義と見守りやサロン活動等についての実践報告をとおり、ケアネット活動の意義や課題等を共有した。
 - ・ ケアネット活動コーディネーター研修事業
令和 7 年 9 月 26 日（金） 舟橋会館 参加者：15 名
日頃の活動の振り返り、個別事例や地域へのアセスメント、解決方法の検討など
 - ・ 富山県地域総合福祉ケアネット活動評価検討委員会
令和 8 年 3 月 12 日（木） サンシップとやま
ケアネット活動推進のための今年度の実施状況評価及び今後の取組課題や効果的実施方法等に関する協議を行った。

（２）地域における総合相談体制の構築

① 生活福祉資金（総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金）、臨時特例つなぎ資金の貸付

- ア 生活福祉資金（総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金）、臨時特

例つなぎ資金の貸付決定実績 231 件、36,415,441 円

- イ 令和 6 年能登半島地震による緊急小口資金、福祉費の住宅改修・災害援護費の特例貸付実績 1 件、200,000 円
- ウ 緊急小口資金等の特例貸付（コロナ特例）の借受人に対する債権管理を行うとともに、市町村社協との連携により、電話・訪問等によるフォローアップ支援を行った。また、フォローアップ支援について、県社協と市町村社協の支援における役割や具体的な支援内容を明確にするため、覚書を締結するとともに、事務費交付要綱を制定した。
- エ 生活福祉資金運営委員会の開催（委員 9 名、5 回）
- オ 滞納世帯に対する生活状況に応じた償還指導と不良債権の整理（免除債権 22 件）
- カ 生活福祉資金貸付事業担当者連絡会の開催（1 回）

② 東部生活自立支援センター運営事業

富山県魚津総合庁舎内に設置した「富山県東部生活自立支援センター」において、県東部 8 市町村（魚津市、滑川市、黒部市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町）を対象に「自立相談支援事業」、「就労準備支援事業」及び「家計改善支援事業」を実施

- ア 新規相談受付件数：61 件（昨年度比：14 件減）、支援プラン策定件数：22 件（昨年度比：2 件減）、自立相談支援事業による就労支援対象者数：17 件（昨年度比：7 件減）
- イ 巡回相談及び出張相談の実施：毎月 1 回、8 市町村社協において巡回相談を行うとともに必要に応じて出張相談を実施した。
- ウ 就労準備支援事業の一環として、模擬面接、履歴書作成支援、健康維持とひきこもり防止を目的にウォーキング等の軽運動の機会を提供した。
- エ 富山県弁護士会との連携により毎月 1 回、法律相談を行うとともに、具体的な支援方法について助言を受けた。
- オ 就労支援員を配置し、直ちに就労することが困難な方を対象とする就労準備支援事業において、様々な背景や特性を持つ方も、自分の希望や適性に応じて就労体験先を選択・利用できるよう、就労体験協力事業所の新規開拓に向けた取組みを行った。

（３）市町村社協の基盤強化支援及び役職員の資質向上

① 地域福祉等担当者会議の開催

市町村社協の地域福祉担当者を対象に情勢報告や今後の活動方針について協議

令和 7 年 5 月 30 日（金） ボルフアートとやま 参加者：65 名

事業説明 令和 7 年度地域福祉関係事業説明

情報交換 地域福祉推進に関する全国的な動向や諸課題、市町村社協における重点的取組の状況等について

② 市町村社協職員研修・支援事業

- ア 社会福祉協議会実践研究発表会（市町村社会福祉協議会役職員等研修会）

令和 8 年 1 月 30 日（金） パレブラン高志会館及びオンライン 参加者：136 名

- イ 市町村社会福祉協議会事務局長研修会

令和 7 年 8 月 1 日（金） パレブラン高志会館 参加者：16 名

講義「社協基本要項 2025 ―これからの社協―」

- ウ 社会福祉協議会中堅職員研修会

令和 8 年 2 月 6 日（金） 富山県民会館 参加者：5 名

講義「市町村社協の現状・方向性と中堅職員の役割」

③ 市町村社協巡回訪問支援

市町村社協を巡回訪問し、活動・組織強化に向けた課題集約や意見交換、情報提供・助言を行ったほか、「地域福祉活動計画」の改訂に取り組む市町村社協への職員派遣、各種研修会への講師派遣等を行った。

④ 市町村社協活動強化費助成事業

市町村地域福祉活動計画等の策定支援、市町村社協の総合力強化の取組み、地域生活課題解決に向けた資源開発等のための取組みへの支援

- ・ 地域福祉活動計画等策定事業 2 社協へ助成
- ・ 市町村社協総合力強化事業 のべ 6 社協へ助成

取組項目 3 意思決定支援のための体制づくり

(1) 身近な地域における権利擁護相談支援の推進

① 日常生活自立支援事業を全市町村で実施

相談件数：16,741 件、契約締結件数：新規 59 件

実利用件数：421 件(令和 7 年度末現在)

ア 契約締結審査会の開催

令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 合計 7 回開催

審査案件 15 件、日常生活自立支援事業利用者の支援に関する助言、契約内容の報告、日常生活自立支援事業報告、運営適正化委員会からの指摘事項に関する対応報告など

イ 生活支援員研修の開催

- ・ 生活支援員基礎研修会の開催

令和 7 年 7 月 15 日（火） 富山県市町村会館 参加者：45 名

講義「認知症がある利用者（高齢者）の理解と支援」など

- ・ 生活支援員ステップアップ研修会の開催

令和 7 年 12 月 5 日（金） 富山県民会館 参加者：37 名

講義・グループ討議「生活支援員活動における利用者支援のあり方」

ウ 専門員研修の開催

令和 7 年 11 月 13 日（木） 富山県教育文化会館 参加者：22 名

講義・事例検討「利用者の意思決定支援と専門員に求められる視点について」

エ 広報・啓発、調査研究の実施

- ・ 富山県社会福祉士会 ぱあとなあ富山との共催により、「高齢者・障がい者の権利擁護のための出前講座」の開催（10 か所）
- ・ 全市町村社協を訪問し、利用者の状況確認、預金通帳及び関係書類の確認、事業に関する問題点・課題について調査実施

オ 成年後見制度利用促進研修会・法人後見実施団体等研修会の開催

令和 7 年 12 月 16 日（火） オンライン開催 参加者：59 名

講義「意思決定支援について」など

取組項目 4 個別支援を通じた地域づくりを推進する専門職の育成

(1) 地域の特性や本人の強みを活かした支援の推進

① コミュニティソーシャルワーク研修の開催

地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク研修

対象者 市町村社会福祉協議会職員、相談援助業務に従事する団体・施設の職員、包括的支援体制整備や地域福祉を担当する行政職員等

前期：令和7年10月30日（木）～31日（金）

後期：令和7年12月11日（木）～12日（金）

パレブラン高志会館 修了者：19名

取組項目5 社会福祉法人等との連携・協働の推進

（1）社会福祉法人連絡会の運営支援等

市町村社協が事務局を担う社会福祉法人連絡会や施設経営法人等と連携しながら実施されている事業の運営委員会に職員を派遣し、課題の把握や助言を行った。

（2）「地域協同」推進シンポジウムの開催

令和8年2月3日（火） 富山県農協会館 参加者：80名

富山農業協同中央会、富山県厚生農業協同組合連合会、富山県生活協同組合連合会、ワークスコープ富山地域福祉事業所、県社協の共同開催で、地域共生社会の実現を目指し共に活動することを目的に、共催団体が運営する在宅福祉サービス事業所や市町村社協が相互に活動報告を行い情報を交換するシンポジウムを実施した。

【推進項目2】

誰もが役割を持ち支え合う共生のまちづくり

取組項目1 多様な主体の参加とつながりづくりの促進

（1）ボランティアセンターの機能強化と市民活動との連携・協働への支援

① ボランティア活動拠点の整備

ア ボランティア交流サロンの使用状況（令和8年3月末現在）

利用団体数 522 団体、利用者数 2,392 名

イ ボランティアワークルームの利用状況

利用団体数 223 団体

② 市町村ボランティアセンター活動事業への支援

地域課題、生活課題に対応する地域住民やボランティアの先駆的、自主的な活動を促進し、ボランティア活動の一層の振興を図るため、市町村社協に助成した。

（ボランティア養成・研修事業、広報・啓発事業、災害救援ボランティア活動支援事業、調査・研究事業、ボランティアセンター運営事業 15 市町村 7,472 千円助成）

③ 市町村ボランティア活動コーディネーターの養成

市町村ボランティアコーディネーター研修

令和7年7月18日（金） ボルフアートとやま 参加者：16名

講義(1)基礎編「ボランティアコーディネーションの理解」

講義(2)実践編「ボランティアセンターにおける相談対応～記録の取り方、活かし方～」
ワークショップ『地域共生社会』の実現に向けたボランティアコーディネーターの役割

～災害時にも生きる、分野や領域を越えたネットワークづくり～」

④ ボランティア活動コーディネーター設置事業

市町村ボランティア活動コーディネーターの設置助成（15 市町村 22 名分）

⑤ 県ボランティアセンターの運営

・運営委員会の開催

第 1 回：令和 7 年 9 月 25 日（木） 高志の国文学館

第 2 回：令和 8 年 2 月 25 日（水） サンシップとやま

・関係会議及び県内外研修等に参加及び講師出講（全社協、東海北陸ブロック社協、市町村社協、福祉関係学会等（オンライン含む））

⑥ NPO チャレンジプロジェクト

大学生の NPO 活動への参加促進及び社会貢献活動への意識向上を図ることを目的としたプロジェクトを実施した。（参加者：23 名）

オリエンテーション：令和 7 年 7 月 17 日（木） 高志の国文学館

活動体験：令和 7 年 8 月～9 月 NPO 法人（13 法人）

参加者交流会：令和 7 年 9 月 30 日（火） 富山県民会館

（2）福祉のまちづくりの視点による市民活動団体等との連携・協働

① 「ボランティア活動強調月間事業」の実施協力

県内各市町村社協がボランティアフェスティバル等を開催

② ボランティアグループ活性化等発掘支援事業

あらゆる分野におけるボランティア活動の促進を図るため、先進的な活動等を行うボランティアグループ・団体、NPO 法人に対して助成を行った。

9 団体 1,297 千円助成

（3）福祉教育・ボランティア学習の推進

① 福祉教育地域指定推進事業

学校と地域、市町村ボランティアセンター等が企画段階から協働し、地域の社会資源を活かした福祉教育・ボランティア体験学習を実施するため、13 市町村社協（13 か所）を指定・助成した。

② 高校生介護等体験特別事業

県立小杉高校と県立となみ野高校を指定し、介護体験やボランティア活動、介護講座等を行った。

③ 富山県福祉教育セミナーの開催

令和 8 年 2 月 20 日（金） ボルファートとやま 参加者：33 名

基調講演「地域とつながる福祉教育～共に生きる力を育むために～」

シンポジウム「学校・施設・地域で取り組む福祉教育の協同実践

～ともに学び、ともに育てる地域の未来～」

④ 富山県福祉教育推進員ネットワーク会議の開催

令和 7 年 11 月 21 日（金） 富山県民会館 参加者：9 名

福祉教育推進プラットフォーム Kick off 座談会
～これからの福祉教育をみんなで考えよう！～
座談会「学校・地域と連携した福祉教育の取り組み」

(4) 高齢者の生きがいくりの推進

① 「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」参加事業

- ア 県内予選会の開催（19 種目、合計 2,147 名参加）
- イ 「第 37 回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜 2025）」
に県代表選手を派遣
令和 7 年 10 月 18 日（土）～21 日（火）24 種目 選手 168 名派遣（ほか本部委員 8 名）
美術展 10 点出品（選手団全体成績：団体 3 位 1、団体ブロック優勝 1、団体第 1 位グループ優秀賞 1、個人 1 位 1、個人ブロック準優勝 1、個人ブロック 3 位 1、個人優秀賞 4）
- ウ 第 23 回富山県ねんりん美術展の開催
令和 7 年 9 月 25 日（木）～26 日（金）富山県民会館美術館 6 部門 64 点展示 318 名来場

② 情報誌（V I T A）発行事業

中高年向け情報誌「V I T A（ビタ）」別冊の発行
（年 2 回イベントニュース 5,200 部、脳トレ問題集 5,600 部、年 1 回サークル一覧 5,200 部）

③ いきいき長寿大学開催事業

- ア すこやか活動講座（富山会場 122 名、高岡会場 93 名、合計 215 名参加）
令和 7 年 6 月～11 月 各会場 6 回 合計 12 回
内容：命といのち、豊かな老後のために知っておきたいお金の話、富山城の歴史を探る、心臓病に注意して豊かな人生を歩もう、健康寿命を延ばすお口の健康、ニュースこの 1 年
- イ 脳トレクラブ交流会
令和 8 年 2 月 27 日（金）富山県教育文化会館 46 名参加
内容：近況及び課題等、情報交換内容の報告、今後の交流会の在り方
- ウ 脳トレ問題集の発行（県内 9 脳トレクラブから問題提供、2 回、計 11,200 部）

④ いきいき友の会事業の運営

会員数（令和 8 年 3 月末現在） 個人 2,467 名、法人・団体 29

ア 個人会員サービス提供事業

i) 情報誌発行事業

情報誌「V I T A」の発行（年 2 回、計 9,000 部を会員に送付）

ii) サービスカード発行事業

会員証による割引サービスの実施（協力店 90 店舗、一覧を 4,500 部発行）

iii) 友の会フェスティバル開催事業

「第 34 回講演と演芸のつどい」の開催

令和 7 年 7 月 5 日（土）オーバード・ホール 400 名来場

講演（弁護士 菊地幸夫）、演芸（桧山うめ吉）、演芸（だら～ず山下）

IV) 催事割引事業

コンサート等のチケット割引サービス（14 公演、187 名利用）

v) V I T A 旅行会開催事業

- 10 企画を催行、27 名参加
- vi) 会員交流会事業
 - 自然観察会 2 回、34 名参加（竹島家見学会 15、高岡古城公園 19）
 - 美術鑑賞講座 3 回 38 名参加
 - 体験講座 3 回 24 名（かぶら寿し作り 9、ガラスの鏡もち作り 3、薬膳を楽しむ 12）
- vii) 生きがいつくり普及推進員事業(会員による自主企画事業)
 - 委員 9 名、意見交換会 1 回
 - ミニ門松づくり 30 名、多肉植物寄せ植え 30 名、岩峯寺をめぐる 18 名、まちなか散策
スマホで楽しむ 10 名
- イ 法人会員サービス提供事業
 - 29 法人等に対し、年会費相当分の個人会員と同様の特典を付与。
 - 情報誌「V I T A」に企業名を掲載
- ウ 会員組織の強化
 - 既存 V I T A クラブ 21 の支援（クラブ一覧の発行、活動助成金の交付）
 - クラブ主催の新規会員体験講座の開催（2 クラブ、21 名参加）

（５）高齢者の社会参加活動の促進

① シニアタレント社会活動事業

- ア 養成研修会の開催
 - 令和 8 年 3 月 5 日(木) サンシップとやま 36 名参加（うち新規 12 名）
- イ 登録及び紹介
 - シニアタレント 187 名（語り部含む）、シニアタレントグループ 43
- ウ 世代間交流会（講師・出演：シニアタレント）への助成 11 件

② 元気高齢者の仲間づくり支援事業

- ア サークルの登録及び支援
 - 元気高齢者サークル 22、ねんりん健康運動推進クラブ 23、合計 45
- イ 情報提供及び相談業務（相談員 1 名配置、相談件数 75 件）
- ウ 県内のシニアサークルの紹介
 - ホームページに 600 サークルを掲載
- エ シニアサークル体験交流会の開催
 - アピアショッピングセンター 150 名参加、道の駅メルヘンおやべ 40 名参加

③ エイジレス社会活動推進事業

- エイジレス社会リーダー養成塾の開催
 - 8 月から 12 月まで計 8 回 富山県民会館ほか 参加者 32 名（うち卒塾生 17 名）
 - エイジレス社会づくりの社会的背景やニーズ、具体的な活動手法に係る講義など

取組項目 2 災害に備えた地域づくりと福祉支援体制の強化

（１）災害時の要援護者支援・福祉救援の取り組みの充実

富山県総合防災訓練にあわせて、砺波市社協と合同で災害ボランティアセンター立ち上げ訓練及び情報伝達訓練を実施した。

令和 7 年 9 月 28 日（日） 県・市町村ボランティアコーディネーター、地域住民等

(2) 災害時のボランティア活動の展開支援

① 災害救援ボランティアコーディネーター・リーダー養成研修の開催

令和 7 年 8 月 28 日（木）～29 日（金） ボルフアートとやま 参加者：15 名

1 日目 講義「1. 災害に関する基礎知識」

「2. 災害ボランティアセンターの概要」

「3. 被災者の置かれている状況の理解」

2 日目 講義・演習「1. 災害ボランティアセンター運営訓練」

「2. 災害ボランティアセンターのレイアウト検討」

② 災害支援に求められる情報発信力向上研修

令和 7 年 10 月 2 日（木） 富山県教育文化会館 参加者：17 名

講義「災害ボランティアセンター運営の進化と事例からみる効果的な情報発信」

講義・演習「災害ボランティアセンター運営支援アプリ（Kintone）の基本的理解と
活用のポイント」

③ 災害救援ボランティアシンポジウム

令和 8 年 3 月 19 日（木） ボルフアートとやま 参加者：50 名

基調講演 「災害支援において大切なこと ～多様な連携と日頃からの備えを考える～」

シンポジウム「能登半島地震・豪雨を経て、いま伝えたいこと

～現場の歩みと、これからの活動～」

(3) 専門職等関係機関・団体との連携・協働

① 市町村社協災害ネットワーク推進事業

災害時における県社協と県内社協の緊急連絡網を整備

② 災害福祉広域支援事業

富山県内外における災害時の福祉広域支援ネットワークの連携を図り、「富山県災害福祉
広域支援ネットワーク協議会」の開催と、災害派遣福祉チーム員（富山DWA T）の登録者
の養成及び研修を行うとともに、富山DWA Tの派遣のための備品等を整備した。

ア 「富山県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」の開催

令和 8 年 3 月 24 日（火） サンシップとやま 参加者：18 名

イ 「災害派遣福祉チーム員登録研修」の開催

令和 7 年 8 月 27 日（水） サンシップとやま 参加者：22 名

【登録者】上記研修受講修了者 22 名を富山DWA Tに登録

登録者数 180 名（令和 7 年度末）

ウ 「災害派遣福祉チーム員フォローアップ研修」の開催

令和 7 年 12 月 18 日（木） サンシップとやま 参加者：40 名

エ 「災害派遣福祉チーム員派遣用物資等」の整備

③ 富山県災害ボランティア活動資機材ネットワーク事業

ア 県内 4 か所（富山市、高岡市、魚津市、砺波市）に災害ボランティア活動用の資機
材を保管するストックヤードを整備した。

- イ 「災害ボランティア活動用資機材ストックヤード整備完了お披露目会」の開催
令和7年5月20日（火） 社会福祉法人光風会 にながわ光風苑
- ウ 「災害ボランティア活動資機材ネットワーク会議」の開催
令和8年2月5日（木） サンシップとやま

④ 災害ボランティアセンター運営支援アプリ導入事業

- ア 災害ボランティアセンター業務の円滑化を図るため、災害ボランティアセンター運営支援アプリを導入した。（導入市町村数：11市町村）
- イ アプリの使い方等について学ぶオンライン研修（Zoom 雑談）を実施した。
令和7年6月～11月：毎週水曜日
令和7年12月～令和8年3月：毎月第2水曜日

【推進項目3】

福祉人材の確保・育成・定着と福祉サービス事業者への支援

取組項目1 福祉職場の魅力発信と福祉人材の確保

（1）マッチング支援強化による人材確保・定着

① 福祉人材無料職業紹介事業

- ア ウェブサイト「福祉のお仕事」による求人・求職登録の促進と福祉の職場・資格等に関する相談、情報提供（保育分野を含む）
- ・相談件数 3,522件（求人 1,513件、求職 2,009件）（前年度末 2,938件）
 - ・登録求人件数 1,450件（前年度末 1,511件）
 - ・登録求人数 2,710人（前年度末 2,874人）
 - ・登録求職者数 641人（一般 459人、学生 182人）（前年度末 685人）
 - ・職場見学者数 102人（前年度末 72人）
 - ・職場体験者数 1人（前年度末 1人）
 - ・紹介者数 107人（前年度末 110人）
 - ・採用者数 134人（一般 80人、学生 54人）（前年度末 98人）
- ※採用者数には他機関からの紹介分も含む（人材センター：96人／他機関：38）

イ 職業訓練受講者への求職登録案内

県技術専門学院や介護労働安定センター等による職業訓練（介護職員初任者・実務者・入門的研修）の場でセンターの紹介や求職登録を案内 9回 受講者 116名 登録者 45名

② 福祉職場説明会の開催

開催日	内容	会場	参加者	参加法人
7月26日（土）	お仕事フェア【児童・保育】	富山国際会議場	86名	59法人
7月27日（日）	お仕事フェア【福祉・介護】	富山国際会議場	99名	85法人
11月7日（金）	ハローワーク魚津・滑川と合同開催	新川文化ホール	112名	40法人
11月13日（木）	ハローワーク砺波・小矢部と合同開催	砺波農村環境改善センター	53名	8法人
11月25日（火）	ハローワーク高岡と合同開催	ハローワーク高岡	15名	1法人

③ 富山の介護職員募集案内冊子作成・配布事業

県内介護施設等の求人情報や働きやすい職場に関する認証制度の取得状況を紹介した冊

子を作成、ハローワーク・スーパー・商業施設等で配布

掲載法人：記事広告 57 法人、純広告 3 法人

作成部数：3,100 部

④ 新任介護職員ネットワーク形成支援事業

ア 富山県福祉・介護職員合同入職式

令和 7 年 4 月 24 日（木） 富山県民会館

出席者 79 名（内訳：入職者 56 名、対策会議委員 12 名、がんばりすと 11 名）

内容 激励のことば（富山県知事）、“初心”表明、

記念講演「ケアの魅力と可能性」

交流研修会「心地よい時間の増やし方」

イ 新任介護職員フォローアップ研修

・介護技術編 4 回 参加者合計 41 名

・ストレスマネジメント編 4 回 参加者合計 25 名

⑤ 福祉・介護人材マッチング強化事業

ア キャリア支援専門員を 2 名配置（介護福祉士、社会福祉士）

イ ハローワーク等との連携事業

ハローワーク 6 か所（月 1～2 回）合計 88 回

・福祉の仕事相談コーナー 相談合計 81 件（前年度末 106 件）

（件数：高岡 17、魚津 17、砺波 21、氷見 1、滑川 11、小矢部 14）

ハローワーク 5 か所 合計 55 回

・介護の仕事就職支援セミナー 参加者合計 313 名（前年度末 322 名）

（参加者数：高岡 59、魚津 64、砺波 102、氷見 34、滑川 54）

合計 10 回

・はじめての福祉の仕事サロン 参加者合計 30 名（前年度末 11 名）

ウ 求人・求職者情報の提供

登録求職者向けに求人情報誌を毎月送付（12 回、722 部発行）

福祉人材情報システムを利用した事業所向けのスカウトサービス 17 件（前年度末 7 件）

エ 移住希望者への相談・求人情報の提供

富山県移住・就職フェアに、福祉人材センターのパンフレットや介護職員募集案内冊子を掲出

⑥ 人材確保相談事業

・富山市主催の介護職場の就職説明会 相談ブース出展 4 回（5/21、9/26、11/19、2/25）

・事業所訪問 27 か所（前年度：15 か所）内訳：職業訓練校 9 か所、事業所訪問 18 か所

⑦ 民間福祉・介護事業所の人材確保に関するアンケート調査の実施

対象 1,552 事業所、回答 696 か所、回答率 44.8%

内容：職員数、保有資格数、入職者数、離職者数、離職理由、外国人材雇用者数、職場環境、キャリアアップ、賃金など

⑧ 富山県出身の福祉系学部・学科学生等の求職登録促進

県外学生：東海・北陸・新潟・長野県ほか合計 22 校、登録者 9 人（前年度：11 人）

県内学生：県内養成 6 校、登録者 165 人（前年度：258 人）

⑨ 保育士・保育所支援センター設置・運営事業

ア センターの運営と啓発

i) 専門相談員の配置

- ・再就職支援コーディネーター1名（保育士）

ii) 啓発

- ・業務案内リーフレットの作成 2,000部（保育所、ハローワーク等に送付）
- ・ポスターの作成 310部（子育て支援センター、小児科医院、商業施設、養成校等に送付）

イ 相談業務と就職あっせん

- ・相談件数 1,433件（求人 806件、求職 627件）（前年度末 1,281件）
- ・登録求人件数 538件（前年度末 643件）
- ・登録求人数 948人（前年度末 1,181人）
- ・登録求職者数 233人（一般 127人、学生 106人）（前年度末 267人）
- ・スカウトサービス 指名件数 17件（前年度末 12件）
- ・職場見学者数 30人（前年度末 27人）
- ・紹介者数 51人（前年度末 47人）
- ・採用者数 59人（一般 11人、学生 39人）（前年度末 42人）

※採用者数には他機関からの紹介分も含む（人材センター：50人／他機関：9）

⑩ 働きやすい職場づくりのための取り組みの推進

社会福祉法人福利厚生センター（通称：ソウェルクラブ）の富山県事務局として、民間社会福祉事業従事者を対象にソウェルクラブへの加入促進、福利厚生サービスの充実、会員同士の交流やリフレッシュを目的とした各種事業を実施

（２）幅広い層に向けた魅力発信

① 中学・高校生への介護の出前講座事業

ア 総合受付窓口の設置

中学・高校の出前講座の受付、調整

イ 中学・高校への介護の出前講座（富山県介護福祉士会及び介護福祉士養成校に委託）

- ・中学校への出前講座 6～2月 延べ13校 909名受講（昨年度比：296名減）
- ・高校への出前講座 6～2月 延べ15校 268名受講（昨年度比：67名増）

② がんばる介護職員応援事業

ア がんばる介護職員の表彰（通称：介護の中堅職員がんばりすと2025）

- ・対象 勤続5年以上10年未満、新人の指導役、介護福祉士、所定の研修修了者
- ・被表彰者 22名（19法人）
- ・表彰式 令和7年11月3日（月・祝） ファボーレ太陽の広場

イ 被表彰者のコメント掲載パンフレットの作成・配付 2,000部

ウ 高校生向け冊子による介護の魅力PR

高校1年生向けに作成・配付される「福祉のガイド本」に受賞者手記等を掲載し、介護の魅力ややりがいを紹介

エ イメージアップ動画の制作・SNS広告の配信

福祉・介護の仕事の魅力ややりがいを若い世代とその親世代を中心に広く訴えるために、SNS（YouTube、TikTok、Tver 広告等）を活用してイメージアップ動画を配信

- ・令和7年7月～12月 プロポーザル実施、2種「介護の日フェスティバル編」、「小・中

学生への啓発編」の動画制作

・令和7年9月～令和8年2月 動画広告配信 5,511,651回

(3) 多様な人材の参入促進・すそ野拡大

① 離職介護人材の届出制度等の活用推進

離職した介護人材や保育士の当センターへの届出を広く周知し、再就職準備金の活用等を通じて就職を支援

- ・ポスター、リーフレットの配布、「福祉とやま」への掲載等
- ・新規届出件数 65 件（介護 32 件、保育 33 件）
- ・有効届出件数 556 件（介護 425 件、保育 131 件）

② 介護助手等マッチング支援事業

ア 介護助手等普及推進員の配置 1 名（介護福祉士・介護支援専門員）

イ 希望者の掘り起こしと求職登録の働きかけ

- ・フリーペーパーラック（県内スーパーマーケットに設置）による配布 315 部
- ・介護福祉士養成校との連携による地域住民等への周知、求職登録の働きかけ 12 回

ウ 介護助手にかかる求人登録の働きかけ

- ・事業所等訪問 51 回
- ・市町村が主催する人材確保セミナーや介護テクノロジー普及・推進センターが主催する生産性向上セミナー等での周知 5 回

エ 啓発

- ・福祉人材センター公式 LINE による情報発信
- ・県公式 SNS（LINE、X）との連携による情報発信
- ・募集チラシの配付 3,335 部（回覧板、地区センター、行政センター、ハローワーク等の関係機関へ送付）

オ 相談業務と就職あっせん

- ・相談件数 851 件（求人 224 件、求職 627 件）（前年度末 520 件）
- ・登録求人件数 63 件（前年度末 43 件）
- ・登録求人数 96 人（前年度末 59 人）
- ・登録求職者数 168 人（前年度末 122 人）
- ・紹介者数 26 人（前年度末 19 人）
- ・採用者数 29 人（前年度末 18 人）

※採用者数には他機関からの紹介分も含む（人材センター：25 人／他機関：4）

③ 富山県福祉人材確保対策・介護現場革新会議の運営

福祉人材確保・介護現場革新の取り組み等について協議

開催日	会議名	会場
8月 1日（金）	第1回人材確保対策ワーキンググループ	県民会館
8月 1日（金）	第1回外国人介護人材マッチング等支援ワーキンググループ	県民会館
9月 2日（火）	第1回福祉人材確保対策・介護現場革新会議	県民会館
2月27日（金）	第2回人材確保対策ワーキンググループ	県民会館
2月27日（金）	第2回外国人介護人材マッチング等支援ワーキンググループ	県民会館
3月25日（水）	第2回福祉人材確保対策・介護現場革新会議	県民会館

④ 介護福祉士修学資金等貸付事業

- ア 介護福祉士等修学資金 申込 41 件、決定 41 件、累計 502 件
実務者研修枠 申込 7 件、決定 7 件、累計 57 件
内定制度（令和 8 年度入学者）申込 7 件、決定 7 件
- イ 離職介護人材就職準備金
介護業務に再就職する人に対する就職準備金の貸付け
申込 3 件、決定 3 件、累計 117 件
- ウ 介護分野就職支援金
介護分野に初めて転職する人に対する就職準備金の貸付け
申込 19 件、決定 19 件、累計 95 件
- エ 障害福祉分野就職支援金
障害分野に初めて転職する人に対する就職準備金の貸付け
申込 5 件、決定 5 件、累計 22 件
- オ 福祉系高校修学資金
福祉系高校に在学する学生に対する修学資金の貸付け
申込 4 件、決定 4 件、累計 26 件

⑤ 保育支援貸付事業

- ア 保育士修学資金
保育士等養成施設に在学する学生に対する修学資金の貸付け
申込 17 件、決定 14 件、累計 136 件
内定制度（令和 7 年度入学者）申込 10 件、決定 8 件
- イ 保育補助者雇上費
保育士の業務負担を軽減するために保育補助者を雇上げる費用を貸付け
申込 0 件、決定 0 件、累計 8 件
- ウ 保育料の一部貸与
未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付け
申込 5 件、決定 5 件、累計 84 件
- エ 潜在保育士就職準備金
保育士として再就職する人に対する就職準備金の貸付け
申込 14 件、決定 13 件、累計 181 件

⑥ 児童養護施設退所者等貸付事業

児童養護施設を退所し就職した者への家賃貸付け、進学者への家賃・生活費貸付け、資格取得希望者への取得費用貸付け

- ア 生活支援費貸与 申込 3 件、決定 3 件、累計 9 件
- イ 家賃支援費貸与 申込 3 件、決定 3 件、累計 10 件
- ウ 資格取得支援費貸与 申込 1 件、決定 1 件、累計 15 件

取組項目 2 専門性を持った福祉人材の育成とキャリア形成支援

（１）委員会等の開催

① 富山県福祉カレッジ研修カリキュラム検討分科会

令和 8 年 1 月 16 日（金） サンシップとやま

令和 7 年度研修実施状況報告及び令和 8 年度研修計画協議 等

② 富山県福祉カレッジ運営委員会

令和 8 年 1 月 29 日(木) サンシップとやま

令和 7 年度事業実施状況報告及び令和 8 年度研修計画協議 等

(2) 福祉カレッジ研修事業の実施

福祉人材の養成及び資質の向上を図るための研修を実施

令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月まで 38 研修開催（延べ開催日数 137 日、受講者数 4,018 名）

① ソーシャルワーク研修

令和 7 年 7 月～令和 7 年 11 月まで 3 研修開催（延べ開催日数 3 日、受講者数 109 名）

（相談援助技術研修、地域災害対応力強化研修など）

② ケアワーク研修

令和 7 年 5 月～令和 8 年 2 月まで 8 研修開催（延べ開催日数 26 日、受講者数 594 名）

（介護施設における安全対策担当者養成研修、介護・福祉従事者のための記録研修など）

③ 経営支援研修

令和 7 年 7 月～令和 7 年 12 月まで 2 研修開催（延べ開催日数 2 日、受講者数 39 名）

（社会福祉法人監事研修、社会福祉法人セミナー）

④ 階層別研修

令和 7 年 4 月～令和 7 年 12 月まで 6 研修開催（延べ開催日数 17 日、受講者数 437 名）

（福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程、新任職員研修など）

⑤ 目的課題別研修

令和 7 年 6 月～令和 8 年 3 月まで 19 研修開催（延べ開催日数 89 日、受講者数 2,839 名）

（強度行動障害支援者養成研修、乳幼児保育研修、介護支援専門員実務研修など）

(3) 介護支援専門員実務研修受講試験事業

令和 7 年度富山県介護支援専門員実務研修受講試験の実施

試験実施日：令和 7 年 10 月 12 日（日）

試験会場：富山県農協会館、ボルファートとやま

出願者数 512 名、受験者数 468 名、合格者数 104 名（合格率 22.2%）

取組項目 3 ICT 及び介護ロボットを含む福祉・介護機器の導入・活用支援

(1) 介護ロボット・ICT の活用等生産性向上に係る相談窓口

① 相談対応

介護事業所・県民からの相談：363 件 昨年度比：99 件減

開発企業からの相談：59 件 昨年度比：32 件増

② 体験展示

ア 展示コーナーでの展示

介護ロボット・ICT 機器展示数：42 製品

イ 展示会の開催

とやま介護テクノロジー展示会 令和 7 年 6 月 7 日（土） 富山駅南北自由通路 参加者：延べ1,100名

③ 試用貸出

介護ロボット等の試用を希望する介護事業所と貸出企業のマッチングの実施
介護ロボット・ICT機器取り次ぎ件数：5件 昨年度比：11件減

④ 伴走支援

介護事業所における介護ロボット等の導入・活用に関する相談・課題に対し、希望する事業所にアドバイザーを派遣し課題解決に向けた助言等を実施（実施数：3事業所）

⑤ 普及啓発・広報

HPやSNSでの情報発信、福祉とやま・VITAによる情報提供

（２）研修会の実施

① 介護現場における生産性向上促進シリーズ研修

介護現場の生産性向上のための知識・手法を習得

ア 介護ロボット等導入シリーズ研修

令和 7 年 7 月～令和 8 年 2 月（全 6 日） サンシップとやま 延べ受講者：68 名

イ ICT等活用支援研修

令和 7 年 8 月 22 日（金） オンライン 受講者：9 名

ウ 介護生産性向上取組支援セミナー

令和 7 年 7 月 31 日（木） 富山国際会議場 参加者：136 名

② 介護ロボット等体験講座

介護現場で実際に使用する介護ロボット等を体験

ア 介護ロボット等体験講座Ⅰ：一般県民、小中高生向け

令和 7 年 4 月～令和 8 年 2 月 サンシップとやま 開催回数：18 回、受講者：220 人

イ 介護ロボット等体験講座Ⅱ：介護福祉士養成校学生、施設職員、専門職向け

令和 7 年 5 月～令和 8 年 3 月 サンシップとやま 開催回数：17 回、受講者：290 人

③ 介護技術実践サポート研修

介護ロボット・福祉用具等を適切に活用した介護方法を分野別に習得

ア 新任職員介護技術サポート研修

i) 口腔ケアコース 令和 7 年 6 月 2 日（月）、12 月 1 日（月） サンシップとやま 受講者：21 名

ii) 排泄ケアコース 令和 7 年 6 月 23 日（月）、12 月 15 日（月） サンシップとやま 受講者：27 名

iii) 移乗関連コース 令和 7 年 6 月 30 日（月）、11 月 25 日（火） サンシップとやま 受講者：32 名

iv) 嚥下・食事コース 令和 7 年 7 月 15 日（火）、12 月 8 日（月） サンシップとやま 受講者：33 名

イ 新任職員指導者技術向上研修

i) 排泄編 令和 7 年 10 月 31 日（金）～1 日（土） サンシップとやま 延べ受講者：30 名

ii) 排泄技術編 令和7年11月7日(金) サンシップとやま 受講者:20名

④ 腰痛予防推進研修

負担の少ない介護の習得、腰痛予防意識の定着及び職場環境の改善

ア 腰痛予防研修

令和7年5月28日(水)～29日(火)、6月9日(月)～10日(火) サンシップとやま
延べ受講者:109名

イ 腰痛予防指導者育成研修

i) 基礎編 令和7年7月7日(月)、14日(月)、28日(月) サンシップとやま 延
べ受講者:67名

ii) フォローアップ編 令和7年9月1日(月) サンシップとやま 受講者:22名

ウ リフトリーダー研修

令和7年9月10日(水)～12日(金) サンシップとやま 延べ受講者:66名

⑤ 介護テクノロジー相談員養成研修

介護現場に必要な介護テクノロジー(介護ロボット・ICT・福祉用具)の選定・評価
に係る知識・手法の習得により、専門人材を育成

令和7年10月～11月(全9日) サンシップとやま 延べ受講者:45名

(3) 人材確保、生産性向上に係る各種支援業務

① 介護ロボット・ICTの導入補助金申請の支援

県が実施している介護テクノロジー定着支援事業補助金の申請・実績報告にかかる問い
合わせ対応や介護テクノロジー導入に関する助言及び提出書類の確認を行った。

② 介護事業所の表彰

県実施「がんばる介護事業所表彰」における問合せ対応や申請内容の確認、視察や検討会
の実施、受賞者の取りまとめ、授賞式及び副賞手配にかかる事務を行った。

取組項目4 福祉サービス事業者への支援とサービスの質の向上

(1) 社会福祉法人等の自立的経営と経営基盤の強化

① 福祉施設経営指導の推進

ア 社会福祉施設経営相談(相談件数 34件)

社会福祉施設経営相談室に専任及び兼任経営相談員2名、専門経営指導員(公認会計士、
社会保険労務士、弁護士)3名を配置し、施設経営に対する指導・助言を実施

イ 「施設経営情報」の発行等による情報提供

ウ 福祉施設経営指導事業連絡協議会の開催

(構成者:県厚生部5課、富山市福祉保健部、県経営協役員、経営指導員等)

令和8年2月17日(火) 富山県民会館 出席者:16名

協議事項・最近の福祉施策の動き

- ・令和7年度指導監査実施状況について
- ・令和7年度社会福祉施設経営指導事業の状況について
- ・意見交換

エ 研修・集団指導の実施

富山県社会福祉法人経営者協議会との連携による、労務管理、経理事務、法律問題等に関する研修機会の提供及び集団指導

・社会福祉法人労務管理研修

令和 7 年 7 月 29 日（火） 富山県市町村会館 参加者：42 名

講義 ①労働基準法の基礎知識

②労働基準法等改正のポイント

③労働条件等に関する主なトラブル、裁判例

④労務管理に関する Q & A

・社会福祉法人経理事務研修

令和 7 年 10 月 9 日（木） 富山県市町村会館 参加者：67 名

講義 ①会計基準の概要・会計処理上の留意事項等

②会計・経理事務に関する Q & A

・社会福祉法人法律問題研修

令和 7 年 11 月 19 日（水） 富山県市町村会館 参加者：26 名

講義 ①社会福祉法人の「指導監査ガイドライン」について－ I 法人運営を中心に－

②法律問題に関する Q & A

（２）富山県福祉施設支援資金の貸付及び償還管理

民間社会福祉施設を支援するため、整備費・運営費を貸付

貸付審査会の開催（2 回）

貸付件数：1 件

貸付額：10,000 千円（令和 7 年度末貸付実績 21 件、89,195 千円）

（３）福祉サービスに関する苦情解決のための取り組み強化

① 福祉サービス運営適正化委員会の開催

第 1 回 令和 7 年 6 月 18 日（木） 県教育文化会館

② 日常生活自立支援事業の運営監視

ア 運営監視部会による現地調査の実施

令和 7 年 7 月 24 日（木）～8 月 1 日（金）

対象：5 市町村社協（小矢部市・上市町・入善町・砺波市・黒部市）

イ 運営監視部会の開催

令和 7 年 9 月 4 日（木） 県教育文化会館

協議事項：日常生活自立支援事業実施状況、現地調査結果、現地調査報告

③ 福祉サービスに関する苦情解決事業の推進

ア 苦情解決部会の開催（年 6 回）

令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 6 回

内容：苦情解決に必要な助言、相談、調査を行う。苦情・相談受付件数：52 件

イ 広報・啓発、巡回指導事業の実施

- ・ 県社協ホームページ、県社協広報誌「福祉とやま」への掲載、リーフレット 200 部印刷、福祉事業所等における苦情解決の手引き等の配布による広報啓発

- ・ 苦情解決体制整備状況について、新規事業所及び苦情のあった事業所 58 か所に確認し

た。

ウ 苦情解決責任者・苦情受付担当者を対象とした研修会の開催

- ・ 福祉サービス苦情解決研修会の開催

令和 7 年 11 月 14 日（金） 富山県市町村会館 参加者：105 名

講義①「苦情対応に求められる事業所の姿勢と苦情解決のあり方」

講義②「第三者委員の役割による苦情等の対応」

事例検討（グループワーク）と解説

講師 東洋大学 教授 高山 直樹 氏

（４）福祉サービス第三者評価事業の実施

① 地域密着型サービスにかかる外部評価の実施

認知症対応型共同生活介護事業所 21 件

② 福祉サービスにかかる第三者評価の実施

児童福祉施設（保育所） 5 件

障害福祉施設 4 件

社会的養護関係施設（乳児院） 1 件

③ 福祉サービス評価・公表事業運営委員会の開催

令和 7 年 10 月～令和 8 年 3 月に 4 回開催

④ 評価調査者の登録

登録者 33 名（令和 8 年 3 月末日現在）

（５）利用者の福祉サービスの選択

介護サービス情報の公表事業の実施

- ・ 指定情報公表センターの運営

「令和 7 年度情報公表計画」に基づく報告・調査・公表事務

報告受理事業所 1,821 件（令和 7 年 10 月～令和 8 年 3 月）

調査事業所 56 件（令和 7 年 11 月～令和 8 年 3 月）

公表事業所 1,821 件（令和 7 年 11 月～令和 8 年 3 月）

- ・ 新規事業所説明会の開催 2 回

第 1 回 令和 7 年 9 月 12 日（金） 富山県民会館

第 2 回 令和 8 年 2 月 3 日（火） サンシップとやま

- ・ 公表事業運営委員会の開催

令和 7 年 12 月 1 日（月） 富山県民会館

令和 8 年 3 月 12 日（木） サンシップとやま

- ・ 指定調査機関の運営

調査対象事業所への訪問調査実施 24 件

- ・ 調査員の登録

登録者 35 名（令和 8 年 3 月末日現在）

【推進項目 4】

地域福祉推進のための組織基盤の強化

取組項目 1 組織体制の強化

（１）事務局体制の強化と職員の専門性や資質向上に向けた取り組みの推進

社協職員として必要な知識・技術の習得を図るため、外部研修へ参加及び通信教育講座を受講

・都道府県・指定都市社会福祉協議会新任職員研修会 4 名

（２）富山県社会福祉協議会強化発展計画（第 5 次活動推進計画）の推進

「富山県社会福祉協議会強化発展計画（計画期間：令和 4～8 年度）」の中間評価結果やその後の課題等を令和 8 年度に策定する次期強化発展計画（第 6 次活動推進計画 令和 9～13 年度）へ反映させるため、計画の進捗状況等を踏まえた自己評価を実施

（３）当面の重要課題への対応

① 業務改革・改善推進委員会の開催

・業務の効果的・効率化を進め、職員の業務改革・改善に関する意識醸成、スキルアップを図るため「業務改革・改善推進委員会」を設置し、委員会及びワーキングを計 3 回開催

・職員から提案のあったマニュアル作成や ICT・デジタル化等に関する 31 項目の仕分けを行い、業務改善を実施

② 防災対策委員会の開催

・災害対応力の強化を図るため「防災対策委員会」を設置し、委員会及びワーキングを計 2 回開催

・組織的な防災対策の取組内容と時期について整理し、防災訓練や災害情報伝達訓練の改善を図った。

・災害時初動対応計画・事業継続計画（BCP）の見直しに向け、令和 6 年能登半島地震の対応検証を行う職員アンケートを実施

（４）会員施設・事業所、賛助会員の加入促進

令和 8 年 3 月末現在会員状況

正会員：1,055 施設・団体 賛助会員：126 団体・個人

（５）富山県総合福社会館（サンシップとやま）の運用

① 令和 6 年能登半島地震被災による対応状況

令和 6 年能登半島地震の影響により、福祉ホール・県民サロン・一部研修室の貸出を停止していたが、令和 7 年 10 月中旬からエレベーターが稼働再開、また、同年 12 月 2 日から 5・6 階フロア（研修室）の供用を再開した。

② 指定管理業務の状況

ア 指定管理期間（第 5 期 3 年目）：2023 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日（3 年間）

イ 施設の利用状況

- ・研修室等利用率 7.30%（前年比-3.95%）
 - ・利用料収入 5,821 千円（前年比+10.74%）
- ※令和6年能登半島地震の影響による不足分は県から補填（+13,161 千円）
- ・減免団体利用率 76.3%（前年比-22.66%）

取組項目2 経営・財政基盤の強化

（1）適正な業務執行体制の確立

① 役員会等の開催状況

会議名		開催日	主な審議事項
正副会長 会議	第1回	令和7年5月28日	・第2回理事会、第1回評議員会への提出議案等
	第2回	令和8年3月19日	・第8回理事会、第2回評議員会への提出議案等
理事会	第1回	書面	・評議員候補者の選定
	第2回	令和7年6月2日	・6年度事業報告・収支決算 ・次期役員（理事・監事）候補者の選定 ・次期評議員候補者の選定 ・評議員会の招集
	第3回	令和7年6月30日	・会長、副会長、専務理事の選定
	第4回	書面	・評議員候補者の選定
	第5回	書面	・富山県総合福祉会館の次期指定管理
	第6回	書面	・富山県総合福祉会館指定管理者の指定申請
	第7回	書面	・評議員会の招集
	第8回	令和8年3月30日	・7年度収支補正予算 ・8年度事業計画・収支予算 ・各種規程の一部改正 等
評議員会	第1回	令和7年6月30日	・6年度事業報告・収支決算
	第2回	令和8年3月30日	・7年度収支補正予算 ・8年度事業計画・収支予算、 ・役員の選任
監事会		令和7年5月26日	・6年度業務執行状況及び財産状況の監査
評議員 選任・解任 委員会	第1回	書面	・評議員の選任
	第2回	令和7年6月17日	・次期評議員の選任
	第3回	書面	・評議員の選任
	第4回	書面	・評議員の選任

（2）多様な民間財源・基金の活用と自主財源の確保

① 基金運営委員会の開催

令和8年3月12日（木） サンシップとやま

報告事項 基金の積立・運用及び収益金の状況について

審議事項 令和8年度基金収益金の配分案について

② 研修受講料の徴収

③ 図書斡旋による手数料収入の確保

取組項目 3 情報収集と発信機能の強化

(1) 第 72 回富山県社会福祉大会の開催

地域福祉活動や募金活動の推進に尽力された個人及び団体を表彰するとともに、議事及び記念講演を行った（表彰状授与・感謝状贈呈 153 名、29 団体）。

令和 7 年 10 月 22 日（水） 富山県民会館ホール

講師 映画監督・ノンフィクション作家 信友 直子 氏

(2) 福祉・生活課題の解決に向けた提言活動の推進

県福祉関係施策及び令和 8 年度県予算に関する要望書を令和 7 年 11 月 18 日に県・関係方面へ提出した。

(3) ウェブサイトや広報誌等の効果的活用による情報発信機能の強化

① 県社協ホームページ活用事業

情報発信の仕組みとして安定的に運用され、より閲覧しやすく情報を得やすいウェブサイトとなるよう、ページの改訂等を随時行った。

② 広報誌「福祉とやま」の発行及び編集会議の開催

・ 広報誌「福祉とやま」の発行 年 6 回（奇数月に各 3,000 部発行）

・ 広報誌編集会議の開催 年 2 回 令和 7 年 4 月 21 日（月）、10 月 16 日（木）

(4) 各種助成金情報の提供

福祉関連の助成金情報についてウェブサイトに掲載し、広く周知するとともに助成金の問い合わせがあれば随時紹介・案内を行った。

令和7年度事業報告附属明細書

令和7年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。